



防災学習会を行いました(5年生)

11月25日(火)に5年生が、防災学習会で土砂災害等について学びました。

令和6年度までは、総合的な学習の時間に「米作り」について学習をしていましたが、今年度から防災について学習をするようにしました。米作りも、社会科と関連付けられて、大変意義深い活動だったのですが、諸事情で継続することが難しくなりました。そこで、潮見地区で起こり得る水害や今後起こる可能性の高い南海トラフ大地震など、自然災害に備えることの重要性が高まっているので、今年度から防災教育に転換しました。

潮見小学校区では、昨年、一昨年の大雨で、学校の前を流れる吉藤川や大川があふれ、被害が出ています。土石流の警戒区域も存在します。水害についての備えを十分にしておく必要がある区域であることは間違いありません。

5年生全体では、ビデオを見たり講話を聴いたりしながら、土砂災害とはこういったものなのか、なぜ起きるのか、といったことを学びました。その後、各クラスに分かれて、ローテーションで体験活動などを行いました。防災マップやモデルを使った学習では、土石流が起きやすい場所や土石流のメカニズムなどを学びました。それぞれの足に7.5kgのおもりをつけて歩いているのは、ひざ下に水があった時の抵抗を体感するためです。自由に歩くことができないことがよく分かりました。土砂災害の3D体験では、実際の映像が立体的に見ることができるので、その恐ろしさが十分分かりました。降雨体験では、1時間に30mmの雨量の威力を思い知らされました。ある子どもは「雨が重い」と言っていました。

今回、様々な体験をすることが、土砂災害への理解を深め、防災意識を高めることができました。今後は、何を備え、実際に起きた時にどのような行動をとればよいのかを考えていきたいと思います。5年生の教員が防災の単元を構成し、新しいことに取り組んでいることは、今後の潮見小学校全体の防災にもつながると考えています。愛媛県砂防ボランティア協会、愛媛県土木部砂防課、中予地方局建設部の皆様、ご協力ありがとうございました。

5年生の頑張りが見られます！

11月21日(金)の昼休みに縦割り班活動のスハミラタイムを実施しました。

この日のスハミラタイムの企画、運営は5年生によるもの。初めて縦割り班活動の計画を立てたり、レクリエーションの司会や進行を務めたりしました。年度の折り返しを過ぎ、6年生からバトンタッチをされて、少しずつ役割や責任が回ってきています。それに動じることなく、アイデアを出し合いながら一生懸命取り組む姿には、頼もしさを感じました。今後の5年生の活躍に期待をしています。

